

RI2820地区

# 水海道ロータリークラブ



ロータリー：  
変化をもたらす



2017-2018年度 RI会長 イアン H. S. ライズリー氏

例会予定 11月29日 55周年記念式典振替(12月9日(土))  
12月 6日

VOL. 55 No. 19(通算No. 2538)

2017年11月22日(水) 例会プログラム

- 点 鐘
- ロータリーソング
- ビジター紹介
- 出席報告
- S A A 報告
- 諸 報 告
- 幹 事 報 告
- 会長挨拶
- 第1回IM準備例会・クラブ協議会
- 51代会長卓話 熊谷 昇会員



2017-2018年度 会 長 石 塚 克 己 幹 事 倉 持 功 典

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790  
常陽銀行水海道支店内 3F  
毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386  
釜久ビル 3F  
Tel.0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



## 11月はロータリー財団月間

例会報告 VOL. 55 No. 18 (No. 2537) 11月15日(水)曇り (司会 亀崎徳彦委員)

### 本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎外部卓話 榊常陽産業研究所

チーフエコノミスト 尾家啓之様

### ビジター

榊常陽産業研究所 チーフエコノミスト 尾家啓之様

### 幹事報告 倉持功典幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

### 会長挨拶 石塚克己会長



11月第3週の挨拶を申し上げます。

常陽産業研究所の尾家様、ようこそお出でくださいました。このち卓話をよろしく願いいたします。

先ず報告としまして、染谷正美会員のお父さまが逝去されました。昨夜の通夜にてお焼香をしてきましたが本日も何人かの会員が参列されています。心からお悔やみ申し上げます。

先週、海老原カウンセラーにおかれましては古河中央ロータリークラブ例会参加、お疲れさまです。他クラブ例会訪問感想は当クラブ会員にとりまして大変興味深く、後期にまとめて報告の場を設けできればと思います。よろしく願いいたします。

また同日に常総市地域交流センター「豊田城」にて茨城県福祉大会が開催され、例会終了後に式典のほうに出席して参りました。600名を超える方々及び団体が表彰されました。共同募金団体表彰として県内12団体、中でも常総市では水海道ロータリークラブ、水海道ライオンズクラブ、内守谷工業団地協議会、常総市建友会、坂手工業団地連絡協議会の5団体がエントリーされています。その代表として水海道ロータリークラブが顕彰され、表彰状を受け取りました。とても光栄の限りで、ロータリーの公共イメージ度が少しでも広まれば幸いに思います。

さて本日は尾家様より「国内金融動向から中国金融経済」についてのお話しも聞けるということで興味深く、楽しみにしています。

会長挨拶、ロータリーには政治の話は必要ないということですが読書感想、書籍感想としてお話しさせていただきます。

尖閣諸島が国有化された当時、中国との関係が一気に悪化しました。“日本はこれからどうなるのだろう”、“中国とは一体何ぞや”、“子どもたちの未来はどうなっていくのであろう”。そんな疑念や不安でいっぱいになり、中国に関する書籍を購入し読みあさりました。

タイトルだけ紹介します。

「中国崩壊前夜」「破綻する中国、繁栄する日本」長谷川慶太郎著

「中国はもう終わっている」「習近平にはなぜもう100%未来がないのか」石平著

「中国共産党は3年以内に崩壊する!？」宮崎正弘著 「ヤバイ中国」渡邊哲也著

「ついに中国で始まった大崩壊の真実」Kyu Kaito

「日本に惨敗しついに終わる中国と韓国」室谷克美 宮崎正弘著

「中国という大難」富阪聡著



## 11月はロータリー財団月間

その後、ご存じのように必ずしもこうした書籍どおりにならず、党大会を経てAPECなどで国の存在感が増しているのが現実です。さらに「中国崩壊」という書籍の「崩壊カウントダウン」が指摘され始め、著者は「必ずしも崩壊と言った覚えはない」と弁明に追われているようです。

併せて先日、鈴木勝久会員事業先の書店に立ち寄ったところ、目に飛び込んできた驚愕の書籍。「日本は北朝鮮に必ず巻き込まれる」宮崎正弘著。このような著書が取り越し苦労であってほしいと平和な世界を心から願う昨今です。

最後に本日、例会終了後に指名委員会がありますので、委員の皆様どうぞよろしく申し上げ、会長挨拶とします。

### ロータリーソング紹介



### ロータリーソング紹介

（一九七四年）

作詞 北尾誠二郎（京都RC）  
作曲 森嘉彦（東京RC）

週に一度の

一、週に一度の 例会に  
友情の肩 たたき合い  
親しき中に 厳しさを  
学びて嬉し ロータリー  
お、ロータリー

二、世界の涯（はて）の  
どこまでも  
延びよ広まれ ロータリー  
奉仕の理想の 旗高く  
世界の平和に 尽くそうよ  
お、ロータリー

### 外部卓話

「最近の金融経済動向」

（株）常陽産業研究所 チーフエコノミスト 尾家啓之様



- 関東・東北豪雨による被害に関しては、心からお見舞い申し上げます。関係者のこれまでのご努力に改めて敬意を表すると共に、一日も早い復興を心からお祈りしております。
- 世界経済をながめてみますと、先進国、新興国ともに現在、同時好況が実現されています。このうち、米国はリーマンショック後の落ち込みからの回復局面が9年目に突入し、潜在成長率とされる2%程度を大きく上回る2.5~3%程度の成長を続けてい

ます。今のところ、2018年いっぱい米国は景気拡大は続くともみておいてよさそうです。ちなみに、このほど、次期FRB議長にパウエル理事がトランプ大統領から指名されました。パウエルさんの政策スタンスは基本的にはイエレン議長とあまり変わらないと言われていまして、経済データを虚心坦懐に分析して極めて慎重に金融政策の正常化（＝金利の引き上げと資産圧縮）を行うという金融政策の継続性は維持されそうです。中国ですが、このほど5年に1度の党大会が終わり、盤石な習近平体制が再スタートしました。経済政策については、習主席自らが最重要視

## 11月はロータリー財団月間

しており、高度成長から中高速の成長へと、きわめて緩やかに減速する姿が想定されています。欧州もまずまずの好況が続いています。このような海外経済環境のもとで、わが国の経済は輸出（外需）、内需ともにバランスよく景気をけん引しています。わが国では、今の景気回復は2012年12月から始まりましたが、この9月に58か月の長さになりました。これは、1960年代後半の「いざなぎ景気」を超える、戦後2番目の長さになります。この先の持続性ですが、超緩和的な金融政策、政府による万全の政策対応を踏まえ、オリンピック需要が一巡する2019年頃までは続きそうです。最大の問題は2019年10月以降、遅くとも2020年夏以降のポスト・オリンピックの景気なのですが、このままいけば、何らかの調整局面を迎えると考えておいたほうがよさそうです。

- さて、ここで、わが国の金融政策を巡る論点をいくつか掘り下げて、問題提起をしてみたいと思います。まず、第1に、景気がよいもとの金融緩和継続をどのように捉えるべきかという点です。仮に2%の物価目標がなかったとしたら、今の金融政策の方向性は最低でも中立に戻し（場合によっては慎重に引き上げを図り）将来の景気後退に備えるべきタイミングと考えられます。
- 第2に、日銀では物価が2%に達すると見込まれる時期を2019年度としています。ということは、今の政策の枠組みを変更しない限り、超緩和的な金融政策が2019年度まで続くということになります。この政策が長期化することに伴う副作用も出てきています。一つは、金融機関経営に及ぼす影響です。もう一つは、いわゆる日銀の出口戦略における難度を高めるという問題です。
- 第3に、米欧の中央銀行は、極めて慎重ながら緩和政策から卒業しつつあるということです。一方、日銀では、しばらくは続けるとしています。ということは、他の条件が等しければ、円安・ドル高（ユーロ高）方向に圧力がかかりやすいということです。そして、これは、輸出企業の採算を改善させ、一般論としては日本の株価にも好影響となる一方で、輸入物価高を通じて2%目標にとって望ましいということになります。今の日銀は、粘り強く今の政策を堅持することによって、2番目の論点で指摘した副作用を上回るメリットがあると思っているように感じます。
- 第4は、財政規律の緩みの問題です。今の政策はマイナスの短期金利と、10年物の国債の利回りを0%に固定することによって、言わば10年までの基準となる金利を水面下（マイナス圏）に置くというものです。国債というのはわが国の中では一番信用力がある債券ですが、その基準となる金利が10年までゼロ%ということは、政府は利払い負担なしに10年までの国債を発行できるということになります。本来は市場で決まるべき国債利回りを日銀が政策的に0%に抑えているわけです。緊急避難的に導入したイールドカーブ・コントロールという手段は、できるだけ早期に卒業し、本来の市場機能が復活できるようにするに越したことはないと思っています。
- 第5は、政府・日銀の連携がこれほど強固となったのは珍しいということです。これは基本的にはいい面ではありますが、注意が必要と思っています。今は、当面インフレリスクが低いということで政府・日銀共に意識が一致しているのですが、2%物価安定目標が視野に入ってきたあたりで、政府と日銀がどのように折り合いをつけていくか、国民目線でしっかりと見届けていただきたいと思います。

以上、現在の金融政策を中心にその問題点をみてきましたが、最大の懸念は、このまま同じ政策の枠組みを続けていったら、将来の景気後退局面で金融政策としてどのように対応するつもりなのかという点です。少なくとも、2019年度まで現在の枠組みを維持し2%を達成できたとして、それ以降の景気減速局面でおそらく金融政策の正常化（中立化あるいは引き締め）を実行しなければなりません、極めて困難が伴うことでしょう。

# 11月はロータリー財団月間

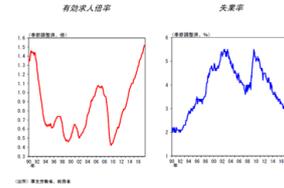
## 世界のGDPランキング(2016)

名目GDP(10億USドル)		購買力平価GDP(10億USドル)	
1 米国	18,569.10(24.7)	1 中国	21,291.77
2 中国	11,219.28(14.9)	2 米国	18,569.10
3 日本	4,938.64(6.6)	3 インド	8,662.35
4 ドイツ	3,466.64(4.6)	4 日本	5,237.79
5 英国	2,629.19(3.5)	5 ドイツ	3,980.28
6 フランス	2,463.22(3.3)	6 ロシア	3,799.70
7 インド	2,256.40(3.0)	7 ブラジル	3,141.34
8 イタリア	1,850.74(2.5)	8 インドネシア	3,032.09
9 ブラジル	1,798.62(2.4)	9 英国	2,785.56
10 カナダ	1,529.22(2.0)	10 フランス	2,733.68
その他合計	75,176.74(100.0)	( ) 内は構成比	

## IMF世界経済見通し



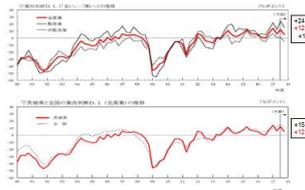
## 労働環境



## わが国景気の現状



## 日銀短観



## 金融政策を巡る論点

1. 景気がいよもとの金融緩和と継続をどのように捉えるべきか。
2. 2019年度まで現在の政策の枠組みが続くとすると長期化に伴う副作用(デメリット)は何か。
3. 米欧の中央銀行が緩和政策から卒業しつつあるなかで、日銀が現在の政策を維持する意味合いは何か。
4. 財政規律の緩みはないか。
5. 政府・日銀の蜜月関係をどう評価すべきか。

## 出席報告 五木田利明委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	メーク	出席率
52名	33名	19名	0名	0名	63.46%

## ニコニコボックス 大澤 清委員長

入金計 ¥23,000 累計 ¥780,000

常陽産業研究所 尾家様、本日よろしくお願ひいたします。明日の大利根でのゴルフ、迷惑掛けないようがんばるべ!! 石塚(克)会員

赤い羽根共同募金の御協力ありがとうございます。 倉持会員

本日は、勉強させて頂きます。 染谷(秀)会員

白梅会ゴルフで準優勝致しました。パートナーに恵まれ、トリプルパーが2ヶ入りしました。 北村(仁)会員

日毎に寒くなるとの事。皆様御自愛下さい。 島田会員

尾家チーフエコノミスト、卓話宜しくお願ひします。 軽部会員

常陽産業研究所 尾家様、卓話宜しくお願ひ致します。 大澤会員

尾家様、卓話宜しくお願ひ致します。 石井会員

例会早退します。 瀬戸・鈴木(勝) 各会員

例会欠席しました。 染谷(昭)・雨谷・斎藤・草間・福田 各会員

## 会報委員会 福田克比古委員長 荒井孝典副委員長 内村尚史委員

## 11月はロータリー財団月間

ゴルフ同好会コンペ

平成29年11月16日(木) 於:大利根カントリークラブ



ご参加ありがとうございました。



大塚会員より記念品の提供。ありがとうございました。



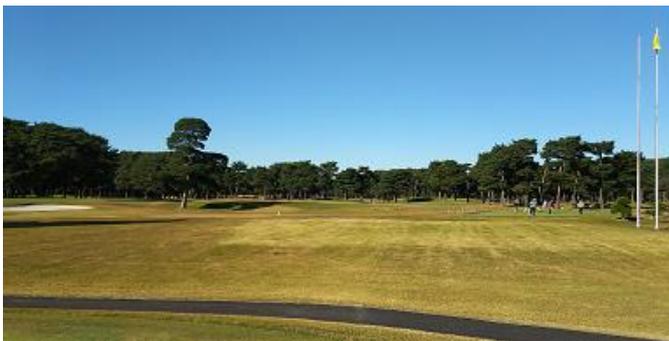
優勝:北村英明会員



準優勝:松崎隆詞会員



第3位:斎藤広巳会員



絶好のゴルフ日和でした。

次回は、来年3月頃を予定しています。  
お疲れ様でした。